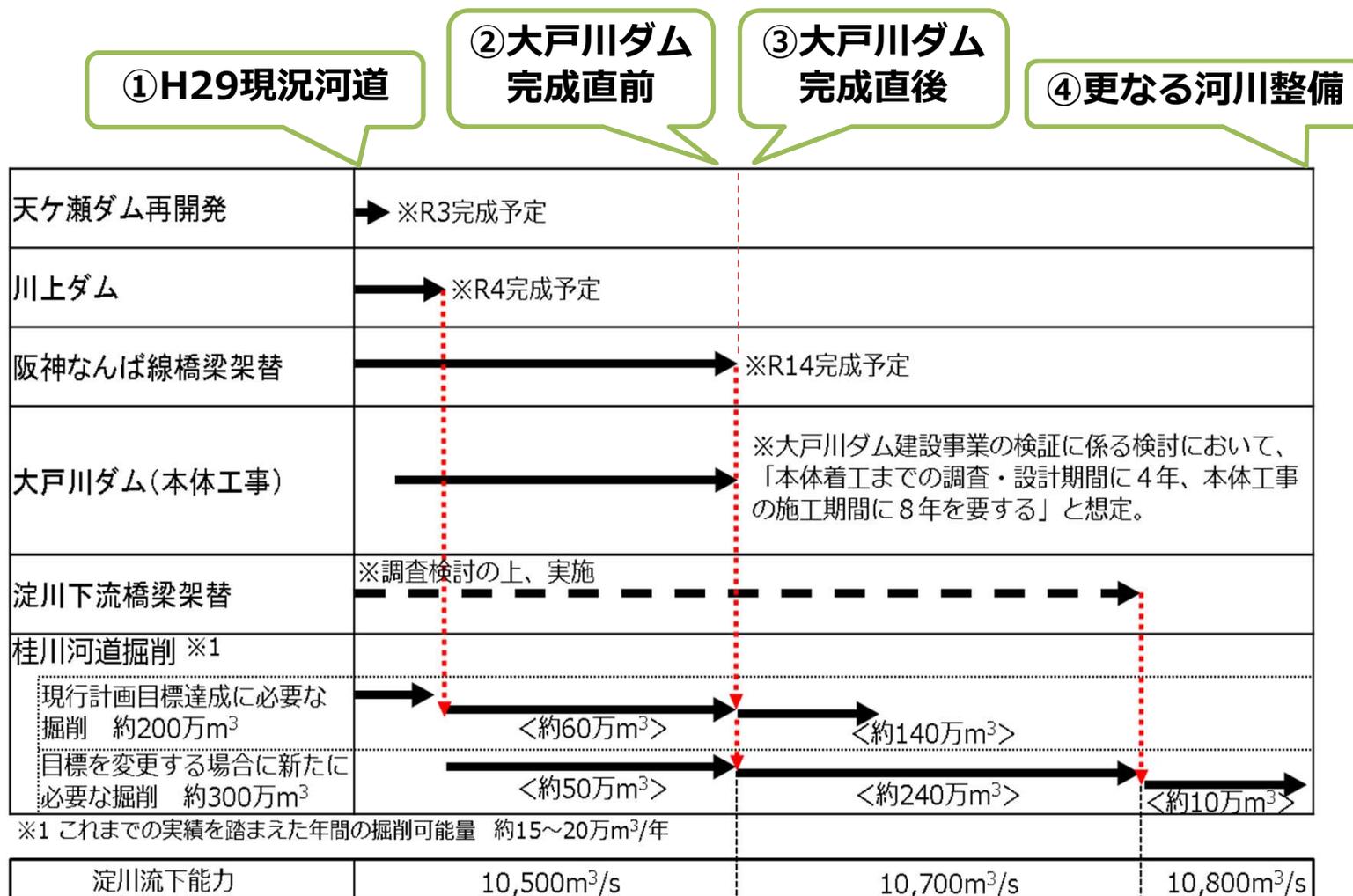


## 第 1、2 回技術検討会の補足説明について

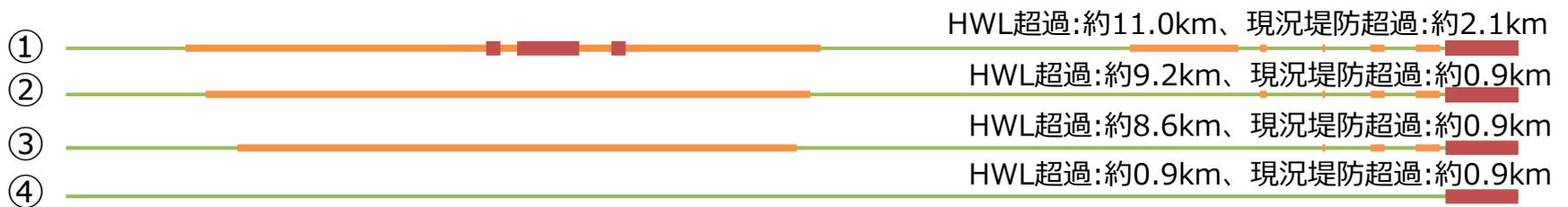
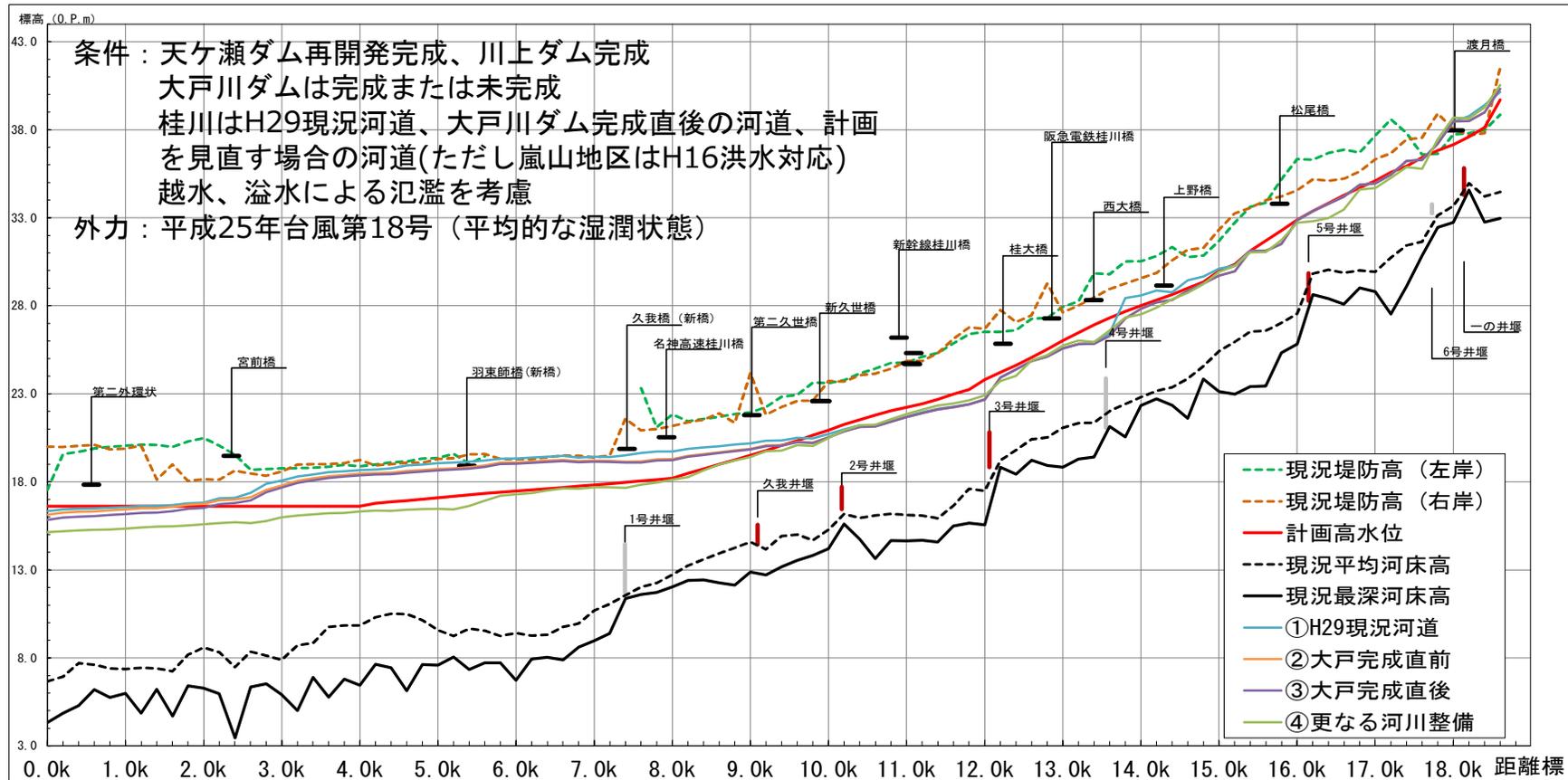
---

## 桂川の各事業段階における水位の比較について

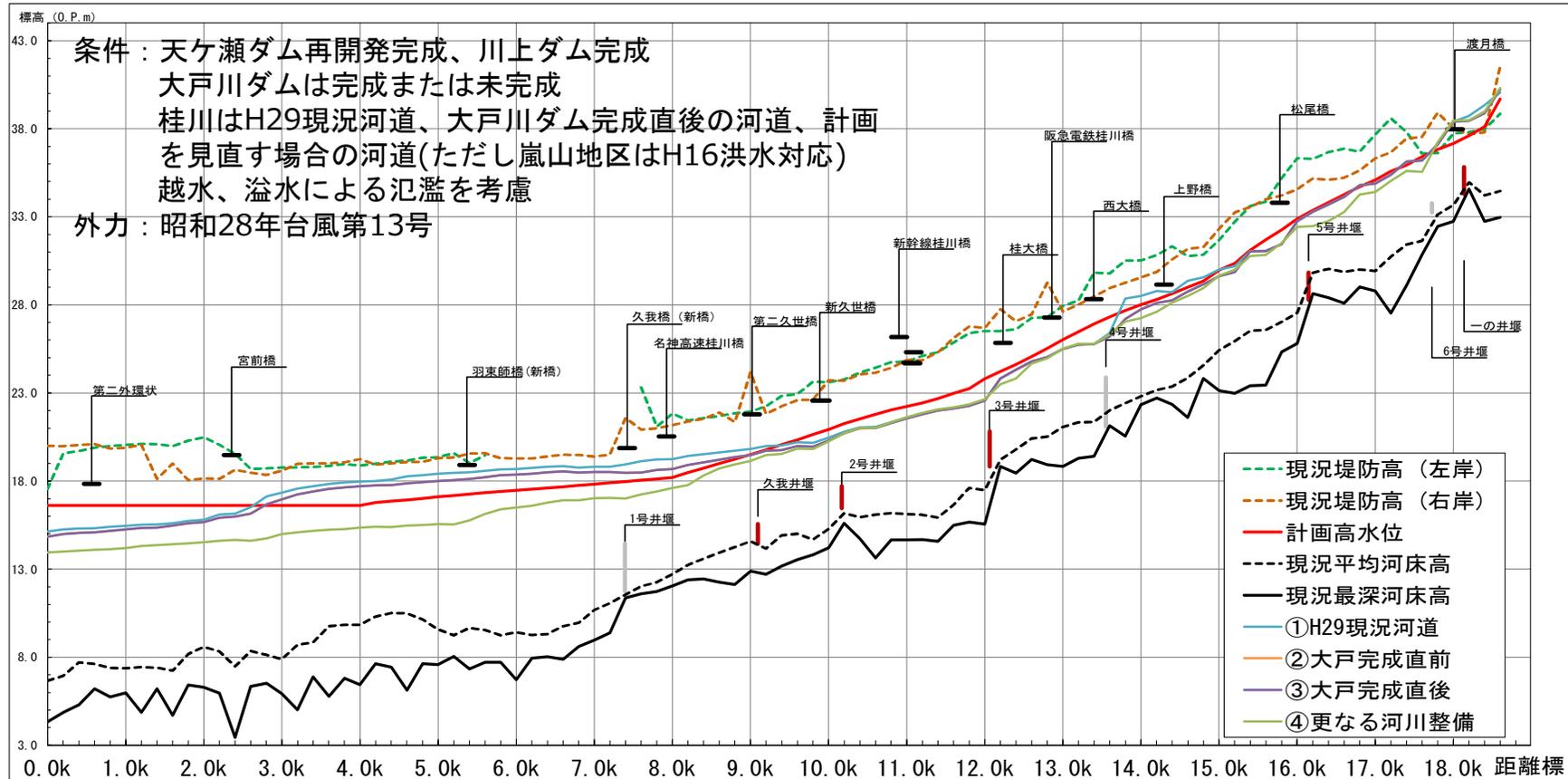
- 桂川の各整備段階におけるH25洪水、 S28洪水の水位縦断を比較



# 桂川の各事業段階における水位の比較(H25洪水)



## 桂川の各事業段階における水位の比較(S28洪水)



①	HWL超過:約9.7km、現況堤防超過:約0.9km
②	HWL超過:約7.6km、現況堤防超過:約0.9km
③	HWL超過:約7.6km、現況堤防超過:約0.9km
④	HWL超過:約0.9km、現況堤防超過:約0.9km

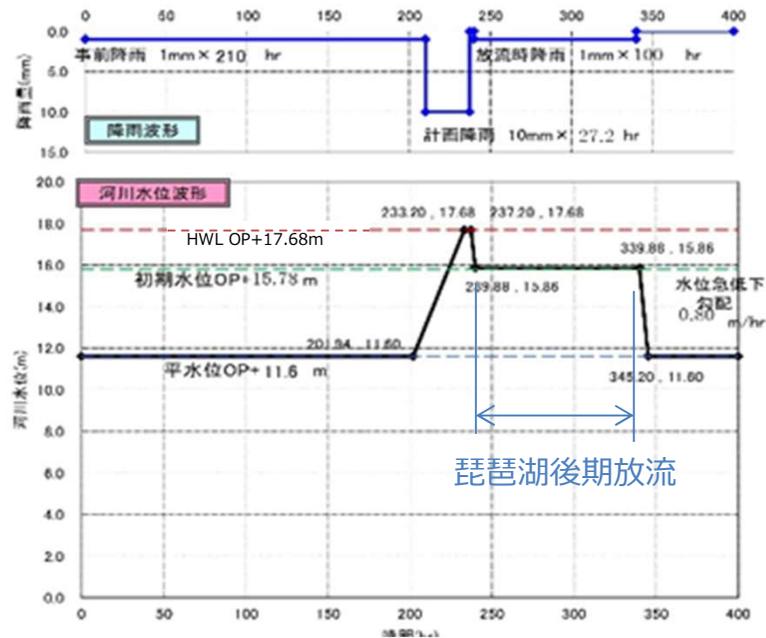
凡例

- HWL以下
- HWL超過
- 現況堤防超過

## 琵琶湖後期放流による宇治川堤防への影響について

- 宇治川堤防の安全性照査は、琵琶湖後期放流時の水位も含めて実施されている。(琵琶湖後期放流時の流量 $1,500\text{m}^3/\text{s}$ 、継続時間:約100時間)
- それによると、琵琶湖後期放流時は、三川合流部の水位低下により計画高水位より低い水位となっている(49.0kpでは、HWL:OP+17.68mに対し後期放流時の水位:OP+15.78mとなっている)

設計外力条件



横断図 (宇治川49.0k)



## 天ヶ瀬ダムの最大限の活用の検討について

### ➤ 事前放流について

- 天ヶ瀬ダムは、淀川水系治水協定(令和2年5月29日)において事前放流を実施することとされている。
- 予備放流方式のため利水容量はすでに全量活用予定であり、堆砂容量のみを活用することとされ、洪水調節可能容量はダム構造上可能な206万 $m^3$ のみとなっている。
- 堆砂が進行するまでの間、降雨量や降雨予測の状況により可能な場合は、事前放流を実施し、異常洪水時防災操作の回避、頻度低減を図っていくこととしているが、この操作は不確実性を伴う（国聞き取り）。

### ➤ 再開発後の運用について

- 再開発後の運用については、桂川などの整備状況を考慮し暫定運用も含めて関係機関と調整予定である（国聞き取り）。

天ヶ瀬ダム容量配分図

